

Quest® NetVault® Backup Plug-in for Hyper-V 12.2

リリース・ノート

2019年2月

本リリース・ノートには、Quest® NetVault® Backup Plug-in for Hyper-Vのリリースに関する情報が記載されています。

トピック:

- [このリリースについて](#)
- [新機能](#)
- [解決済みの問題](#)
- [既知の問題](#)
- [システム要件](#)
- [製品ライセンス](#)
- [アップグレードおよびインストールの手順](#)
- [追加リソース](#)
- [グローバル化](#)
- [企業情報](#)

このリリースについて

Quest NetVault Backup (NetVault Backup) Plug-in for Hyper-V (Plug-in for Hyper-V) 12.2は、拡張機能が含まれたマイナー・リリースです。製品の詳細なドキュメントは下記サイトからご覧いただけます。
<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents>

新機能

Plug-in for Hyper-V 12.2の新機能:

- Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、およびWindows Server 2019 Hyper-Vインストールを対象としたパラレル・リストアを実装
この機能は、Plug-in for Hyper-V 12.2で作成されたバックアップに対して使用できます。12.2より前のバージョンで作成したバックアップについては、別途、設定が必要になります。詳細については、『Quest NetVault Backup Plug-in for Hyper-V 12.2 ユーザーズ・ガイド』を参照してください。
- Windows Server 2019のサポートを追加

解決済みの問題

本リリースで対処された問題は以下のとおりです。

表 1. 解決済みの一般的な問題

解決済みの問題	問題 ID
Windows Server 2016 ユーザー ：プラグインのバージョン 11.4 以降にアップグレードした後、フル・バックアップが正しく完了しない問題を修正しました。バージョン 11.2 以前のプラグインを使用して Windows Server 2016 で作成されたフル・バックアップ・ジョブは正常に完了し、データが含まれていました。ただし、バージョン 11.4 以降のプラグインにアップグレードした後、プラグインは既存のジョブが正常に完了したことを示していますが、データはバックアップされませんでした。	DNMHP-339
Windows Server 2016 の場合、Hyper-V 仮想マシンをリストアすると、ネットワーク・アダプタの設定が失われました。	DNMHP-327

既知の問題

サードパーティ製品に起因する問題を含む、リリース時に確認されていた問題は以下のとおりです。

表 2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
簡体字中国語、フランス語、ドイツ語、または韓国語の Windows Server 2008 R2 に Hyper-V ロールを使用している場合は、VM のリカバリ中に権限が正しく付与されないため、Hyper-V Manager で認識できない VM が表示されます。リストアしたファイルに手動で権限を付与するには、.vhd、.avhd、.xml、.bin、.vsv など、リストアされた VM の全ファイルに次のコマンドを実行します。 <code>icacls <restore_file> /grant "NT VIRTUAL MACHINE/<VMID>":F /l</code> 「NT VIRTUAL MACHINE」は同等の言語に置き換えてください。 	DNMHP-166 (21572)
例： <code>icacls "C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Hyper-V\VirtualMachine\2CAB416C-6B89-4B76-958A-CEAE95D33BAD.xml" /grant "Ordinateur Virtuel NT\2CAB416C-6B89-4B76-958A-CEAE95D33BAD":F /l</code> VMID は、VM の GUID です。通常、GUID は .xml ファイルの名前と同じです。 「/l」は、シンボリック・リンク・ファイルに必要です。	
VM 名が長すぎると、プラグインでバックアップ用のオンライン仮想マシンをマウントできません。名前が長すぎる場合、プラグインの作業ディレクトリと仮想ドライブのファイルへのパスを合わせた「公開パス」の長さが 260 文字を超えます。	DNMHP-209 (22818)
ローカライズ版の NetVault Backup サーバーまたはクライアントのいずれか、あるいは両方を搭載した Windows Server 2012、2012 R2、または 2016 に Hyper-V ロールを使用している場合は、イメージ・レベルのリカバリを開始する前に手動で VM を削除してください。VM を削除しないと、ファイルが作業ディレクトリ（プラグインのバージョン 10.5 以前）または指定された場所（バージョン 11.1 以降）に正常にリストアされる場合でもリカバリは失敗します。	DNMHP-226 (28005)、FB 17369)

表 2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
プラグインでファイル・レベルのリカバリ・プロセス中にシンボリック・リンクやハード・リンクが表示されません。	DNMHP-256
バックアップ・ターゲットの VM 名には、Unicode 文字は使用できません。名前に Unicode 文字が含まれている VM をバックアップすると、「Error writing to backup media」(バックアップメディアへの書き込みエラー) メッセージが生成されます。	DNMHP-277 (FB 17225、 FB 18297)
ローカライズ版のプラグインを使用する場合は、次の項目が翻訳されていません。[アクション] リストと [プラグイン・オプション] ダイアログ・ボックスに含まれているオプション、および [ジョブ・ステータス] または [ログ参照] ページに表示されるメッセージ。	DNMHP-283、 DNMHP-284、 DNMHP-285 (FB 17344、 FB 17346、 FB 17351)
ソースがホストと同じディスク ID を持つ VM をリストアすると、VM はエラー (0xc000000e) を表示して起動に失敗します。	FNVP-109 (FB 17393)
対処法:	
<ul style="list-style-type: none"> BCDEdit コマンド・ライン・ツールを実行し、ブート・マネージャーに適切なディスクを設定します。 同じ仮想ハード・ディスク (VHD または VHDX) からソース VM をクローン作成している場合は、ソース VM のディスク ID を更新します。つまり、各クローン VM 内のディスク ID を変更します。 	
パススルー・ディスクにオペレーティング・システム (OS) が存在する VM をターゲットとするバックアップ・ジョブを実行すると、正常に失敗しません。この設定はサポートされていません。バックアップ・ジョブは、失敗し、ディスクがバックアップされていないことを示す必要があります。ジョブが失敗せず、プラグインは、設定、.xml、および recover_ctx.dat ファイルを誤ってバックアップします。	FNVP-111 (FB 17395)
Windows Server 2008 R2 を Hyper-V Server として使用している環境で、リストア中に [名前変更] 機能を使用すると、VM バックアップが含まれるネットワーク・アダプタがリカバリに含まれません。リカバリが完了した後、Hyper-V Manager を使用して、VM のネットワーク・アダプタを追加します。	FNVP-175 (FB 17804)
Windows Server 2008 R2 を Hyper-V クラスタリングに使用している環境の場合、実行できる並列書き込みストリーム数は 1 つです。この数を変更すると、プラグインで複数のバックアップ・ストリームの同時実行が妨げられます。	FNVP-177 (FB 17808)
ファイル・レベルのリストアを実行する場合は、VM ノードに [アクション] リストの [名前変更] オプションを使用しないでください。オプションは有効になっていますが、プラグインは [名前変更] フィールドを無視します。リストアの完了時に警告が発せられます。	FNVP-190 (FB 17824)
お使いの環境に Linux VM が含まれていて、大文字 / 小文字が異なる同じ名前のファイルを含むジョブのファイル・レベルのリカバリを実行した場合、ジョブは警告付きで完了する可能性があります。Windows では大文字と小文字が区別されないため、2 つのファイルの違いは認識されません。選択された他のファイルはすべてリカバリされます。	FNVP-195 (FB 17829)
プラグインは、Windows Server 上の圧縮された NTFS (New Technology File System)、またはスパースの NTFS ファイルを正常にインデックス付けしません。この問題のため、ファイル・レベルのリカバリ時には圧縮 NTFS ファイル、またはスパース NTFS ファイルはリカバリできません。	DNVMWARE- 1456 (29043、 FB 17836)
プラグインは、Linux の拡張ファイル・システム (EXT) のスパース・ファイルは正常にインデックス付けしません。この問題のため、ファイル・レベルのリカバリ時にはスパース・ファイルのリカバリはできません。	DNVMWARE- 1365 (27629、 FB 17841)
対処法: スパース・ファイルをリカバリする場合は、イメージ・レベルのリカバリを実行してください。	

表 2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>プラグインは、バージョン 1.7 または 10.0.1 を使用して作成されたバックアップのリカバリはサポートしていません。</p> <p>対処法: バージョン 1.7 を使用して作成されたバックアップのスパース・ファイルをリカバリする場合は、イメージ・レベルのリカバリを実行してください。</p>	FNVP-206 (FB 17843)
<p>VM が仮想ドライブから作成されたストレージ・プールに依存している場合、バックアップ・ジョブは失敗します。</p> <p>対処法: VM の電源をオフにして、バックアップ・ジョブをもう一度実行してください。</p>	FNVP-211 (FB 17851)
<p>Windows Server 2012 R2 以降、Hyper-V は複数の VM 間での仮想ハード・ディスク・ファイル (.vhdx) の共有をサポートしています。ただし、.vhdx ファイルを共有している場合、サイズ変更、移行、レプリカの作成、レプリカのバックアップなどの Hyper-V タスクは、現在、プラグインではサポートしていません。</p>	DNMHP-260 (FB 18406)
<p>ソースで複数の SCSI コントローラを使用している VM をリストアした場合、SCSI コントローラに接続されているドライブがオフラインになることがあります。</p> <p>対処法: ドライブをオンラインにするには、VM のディスク管理ユーティリティを使用します。</p>	DNMHP-301
<p>Windows Server 2016 を使用している環境の場合、VM に NetVault Backup チェックポイントが存在するため、バックアップ・ジョブが失敗する可能性があります。</p> <p>対処法: 次のコマンドを使用して NetVault Backup チェックポイントを削除します。</p> <pre>Remove-VMSnapshot -vmname \$VMName -name \$checkpointName</pre>	DNMHP-304
<p>Windows Server 2016 の場合、プラグインは VM 設定から DVD ドライブをバックアップしません。</p>	DNMHP-349
<p>Windows Server 2016 で、場所を英語以外のロケールに変更してから起動順序を変更すると、リストアの実行で、無効なネットワーク・アダプタがリストアされた VM に追加されます。</p>	DNMHP-350

システム要件

Plug-in for Hyper-V 12.2をインストールする前に、お使いのシステムが『Quest NetVault Backup互換性ガイド』(<https://support.quest.com/technical-documents>で入手可能)に記載の要件を満たしていることを確認してください。

このプラグインを使用するには、Windows PowerShell 3.0以降がインストールされている必要があります。Windows Server 2008 R2にデフォルトで含まれているのは、PowerShell 2.0であるため、3.0以降に更新する必要があります。Windows Server 2012、2012 R2、2016、2019には、デフォルトで3.0、4.0、5.0、5.1がそれぞれ同梱されています。

アップグレードと互換性

Plug-in for Hyper-V 12.2では、NetVault Backup 11.4.5以降が必要です。サポートされるプラットフォームの詳細については、『Quest NetVault Backup互換性ガイド』を参照してください。

! **注意:** プラグインは、Plug-in for Hyper-Vバージョン1.7を使用して作成されたバックアップのリカバリはサポートしていません。バージョン1.7を使用して作成されたバックアップをリカバリする必要がある場合は、プラグインをアップグレードしないでください。

製品ライセンス

NetVault Backupサーバー環境でライセンス・キーを取得するには、メインNetVault BackupサーバーのNetVaultマシンIDを確認します。また、OracleやMySQL、PostgreSQL、SQL Server、Exchangeなどのアプリケーション・プラグインを実行しているクライアントのマシンIDも確認する必要があります。

NetVault設定ウィザードを使用して、製品のライセンス・キーをインストールできます。代わりに[クライアント管理]ページからライセンス・キーをインストールすることもできます。

- マシンIDの取得
- 設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール
- [クライアント管理]ページからのライセンス・キーのインストール

マシン ID の取得

- 1 NetVault Backup WebUIを起動します。
- 2 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 4 [クライアント表示] ページで、マシンIDと正確に同じものが [クライアント・サマリ] テーブルに表示されます。

設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション]パネルで、[ガイド付き設定]をクリックします。
- 2 [NetVault設定ウィザード] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンス・キー文字列の入力] ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

[クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション]パネルで、[クライアント管理]をクリックします。
- 2 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 3 [クライアント表示] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 4 [ライセンスのインストール] ダイアログ・ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。
- 5 ダイアログを終了するには、[閉じる] をクリックします。

アップグレードおよびインストールの手順

アップグレードおよびインストール手順の詳細については、『Quest NetVault Backup Plug-in for Hyper-Vユーザーズ・ガイド』を参照してください。

アップグレードおよびインストールに関する重要な注意事項

プラグインをインストールまたはアップグレードする前に、次の項目を確認してください。

- バージョン1.7以前からアップグレードする場合は、**既存のプラグインを削除し、NetVault Backup 10.0.5以降にアップグレードしてから、新しいバージョンをインストールする必要があります。**バージョン10.0.1でプラグインの名前が変更されました。そうすることで確実に、前のプラグイン名が入った項目が削除されてから、新しい名前の項目がインストールされます。
- バージョン10.0.1からアップグレードする場合、その環境の物理クライアントにHyper-Vクラスタが含まれていると、アップグレード・プロセスによって設定済みのクラスタが自動的に削除されます。つまり、プラグインの設定ファイルからサーバーおよび認証情報が削除されます。アップグレードでは、ユーザーが仮想クライアントを追加してクラスタを再構成することを想定しています。また、仮想クライアント機能が採用されているため、バージョン10.0.1でクラスタ用に作成したバックアップ・ジョブを削除してから、新しいバージョンを使用してジョブを再作成してください。
- NetVault Backup仮想クライアント機能を使用する場合は、個々のクライアントにはプラグインをインストールしないでください。**仮想クライアントを作成して使用することで、自動的にプラグインが適切な物理クライアントにプッシュされます。仮想クライアントの使用についての詳細は、『Quest NetVault Backupアドミニストレーターズ・ガイド』を参照してください。

追加リソース

以下から追加情報を入手できます。

- [オンライン製品ドキュメント](#)
- [NetVaultコミュニティ](#)

グローバル化

ここでは、北米以外の地域のお客様に必要な、この製品を英語以外の言語設定でインストールして構成する方法を説明します。このセクションで説明する内容は、他の製品マニュアルに記載されているサポート対象プラットフォームや設定などの情報に代わるものではありません。

本リリースでは、シングル・バイトまたはマルチ・バイトのあらゆる文字セットに対応しています。多言語データを使用した同時操作にも対応しています。このリリースを利用できる対象地域は次のとおりです。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

本リリースは次の言語にローカライズされています：中国語（簡体）、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語。

企業情報

Questは、急速に変化する企業ITの世界にソフトウェア・ソリューションを提供します。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッド・データセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。弊社は、Fortune 500の95%の企業およびGlobal 1000の90%の企業など、100か国におよぶ130,000社に対するグローバル・プロバイダーです。1987年以来、データベース管理、データ保護、IDおよびアクセス管理、Microsoftのプラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Questにより、組織はIT管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新に費やす時間を増やすことができます。詳しくは、以下を参照してください。 <http://www.bakbone.co.jp>

テクニカル・サポート用リソース

テクニカル・サポートは、Questの有効な保守契約を締結している場合、または試用版を保有している場合にご利用いただけます。Questサポート・ポータル (<https://support.quest.com/ja-jp>) にアクセスすることができます。

サポート・ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ・ツールがあり、24時間 365 日ご利用いただけます。サポート・ポータルでは次のことを実行できます。

- サービス・リクエストの送信と管理。
- ナレッジベース記事の参照。
- 製品に関するお知らせへの登録。
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード。
- 入門ビデオの閲覧。
- コミュニティ・ディスカッションへの参加。
- サポート・エンジニアとのオンライン・チャット。
- 製品に関する支援サービスの表示。

© 2019 日本クエスト・ソフトウェア株式会社

ALL RIGHTS RESERVED.

本書には、著作権によって保護されている機密情報が記載されています。本書に記載されているソフトウェアは、ソフトウェア・ライセンスまたは機密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアは、当該契約の条項に準拠している場合に限り、使用または複製することができます。本書のいかなる部分も日本クエスト・ソフトウェア株式会社の書面による許可なしに、購入者の個人的な使用以外の目的で、複写や記録などの電子的または機械的ないかなる形式や手段によっても複製または転送することはできません。

本書には、Quest Software 製品に関連する情報が記載されています。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書または Quest Software 製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも付与されません。本製品の使用許諾契約の契約条件に規定されている場合を除き、QUEST SOFTWAREはいかなる責任も負わず、製品に関連する明示的、黙示的または法律上の保証(商品性、特定の目的に対する適合性、権利を侵害しないことに関する黙示的保証を含む)を否認します。QUEST SOFTWAREは、損害が生じる可能性について報告を受けたとしても、本ドキュメントの使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、必然的、懲罰的、特有または偶発的な障害(無期限、利益の損失、事業中断、情報の損失も含む)に対しても責任を負わないものとします。Quest Software は、本書の内容の正確性または完全性について、いかなる表明または保証も行わず、通知なしにいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。Quest Software は、本書の情報を更新する一切の義務を負いません。

本文書の使用に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本クエスト・ソフトウェア株式会社
宛先: 法律部門
東京都新宿区西新宿6-10-1
日土地西新宿ビル13F

日本国内および海外の事業所の情報に関しては、弊社のWebサイト(<https://www.quest.com/jp-ja>)を参照してください。

特許

高度なテクノロジーはQuest Softwareの誇りです。特許および出願中の特許がこの製品に適用される可能性があります。この製品に適用される特許に関する最新情報については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal>の弊社Webサイトを参照してください。

商標

QuestおよびQuestロゴは、日本クエスト・ソフトウェア株式会社の商標および登録商標です。Questの商標の詳細な一覧については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspx>を参照してください。その他すべての商標および登録商標は各社に帰属します。

凡例

- **警告:** 警告アイコンは、潜在的な資産の損害、個人の負傷または死亡の可能性を表しています。
- ⚠ **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを表しています。
- i **重要、メモ、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。